



白石区 第27号

2025年 6月発行

生活支援体制整備事業とは

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業など地域の多様な主体が連携を図り、ちょっとした生活の困りごとを解決する高齢者の生活支援「支え合いの仕組みづくり」を行います。

新・札幌ニーズ11（イレブン）

高齢者が抱える困りごと（ニーズ）解決の必要性について、札幌市全体としての共通する困りごととして**11個**にまとめています。今後は、各地域の状況に合わせながら、様々な取り組みを展開します。

①ゴミ関係

②除雪

③移動手段
(通院・余暇等)

④買い物

⑤高所作業
(電球交換、窓ふき、掃除等)



「さぼっちー」

みなさんの地域で「こんな事が将来不安」や生活の中での困りごと、「こうなったらいいな」をお気軽に教えてください！支え合いの仕組みづくりについて一緒に考えましょう！

⑥重いものを動かす・運ぶ(家具、灯油タンクの運搬等)

⑦身元保証

⑧話し相手・相談相手、かかわり・つながり

⑨生活に必要な情報の入手、スマホ・インターネット・家電の操作や使い方

⑩区役所・公共料金・宅配等の手続き(書類の書き方)

⑪担い手不足(町内会・自治会の当番ができない等も含む)

～生活支援コーディネーターは地域の皆さんと一緒に支え合いの仕組みをつくっていきます～

4月から、白石区第1エリア(白石・北東白石地区)生活支援コーディネーターの担当となりました岩田と申します。

地域のサロンや地域食堂などをまわる中で、「背中が痛くて部屋の片づけが出来ない」、「しゃがむのがつらくて庭の草取りが大変」、「スマホの操作方法が分からない」など様々な声を聞きました。

生活支援コーディネーターは、地域の困りごとと、その解決に向けてできること(人・企業・団体など)をつなぐ役割をしています。

今後、白石区の皆様にはお世話になりますが、支え合いの仕組みづくりについて一緒に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします！



札幌市白石区社会福祉協議会

〒003-8612 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎1階

TEL: 011-861-3700 FAX: 011-866-8999

北白石地区 市営住宅北郷団地自治会 「住民同士の支え合いに向けた話し合い」

北郷団地地区ではコロナの影響があり地域での住民同士の支え合いが希薄になっている課題が出てきています。

2025年1月、自治会長より買い物困難や気軽に集える場づくりについて相談がありました。住民が安心して生活できる地域づくりを目指し、地域と関係機関が話し合いを行うこととなりました。



話し合いの場では自治会関係者・関係機関が地区課題解決に向け活発な意見交換がなされました。

介護予防センター菊の里 惣伊田氏より「自分たちがあったら参加したいという内容を検討していったほうがよい。」とアドバイスがあり、自治会長より「企画を考えるにあたり、あまり内容を固くしたくない。住民に声掛けして気軽に参加してもらえる内容を検討していきたい。」と意見がまとまりました。今後は話し合いを重ね、生活支援課題解決を目指していきます。

地域とつながる事業者をご紹介します

【白石東地区】

介護ステーションソニア（栄通18丁目5-55）



きぼうのはな

サービスの提供だけでなく、地域づくりに取り組んでいます！

訪問介護事業所の1階で「**フリースペース&カフェ 喜房の華**」を運営しています。地域のさまざまな方が気軽に立ち寄れる**交流の場**として、飲み物を1杯100円で提供しています。近隣にお住まいの高齢の方、子育て中の方、障がいのある方、地域で活動する方など、どなたでも歓迎しているのが特徴です。

代表取締役の本間さんより、「誰もが『ここに来ればほっとする』と思えるような、居心地の良い居場所を目指しています。コーヒーやお茶を楽しむだけでなく、地域の方々がゆるやかにつながれる場所として、ワークショップや交流イベントなども開いていきたいです。また、地域の福祉や暮らしのことを気軽に相談できる“入り口”としての役割も担いたいです。」とお話いただきました。

地域の皆様へメッセージ

喜房の華は、地域の皆さんにとって“安心して立ち寄れる場所”でありたいと願っています。これからも、地域の皆さんと一緒にあたたかい関係を育んでいきたいと思っています。どうぞお気軽に遊びに来てください。



足つぼマッサージ
のイベント時の様子

